令和3（2021）年度博士前期課程（一般選抜・春期試験）問題　目次

専門試験		ページ
文化形態論	哲学哲学史	2～3
	現代思想文化学	4～5
	臨床哲学	6
	中国哲学	—
	インド学・仏教学	7
	日本学	8～9
	日本史学	10～17
	東洋史学	18～119
	西洋史学	20～22
	考古学	23～24
	人文地理学	—
文化表現論	日本文学	25～28
	比較文学	29～31
	中国文学	32～33
	英米文学	—
	ドイツ文学	34～36
	フランス文学	—
	国語学	—
	日本語学	37
	英語学	38～39
	美学	40
	文芸学	41
	音楽学	—
	演劇学	42～43
	日本・東洋美術史	44～47
	西洋美術史	48

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　哲学哲学史専門分野　筆記試験

［　問題用紙は２枚あります。］

注意　①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること
　　②問題用紙は持ち帰ること

Ⅰ　以下の英語文全文および独語文全文をそれぞれ日本語に訳しなさい。

①

The individual experiences himself as such, not directly, but only indirectly, from the particular standpoints of other individual members of the same social group, or from the generalized standpoint of the social group as a whole to which he belongs. For he enters his own experience as a self or individual, not directly or immediately, not by becoming a subject to himself, but only in so far as he first becomes an object to himself just as other individuals are objects to him or in his experience; and he becomes an object to himself only by taking the attitudes of other individuals toward himself within a social environment or context of experience and behavior in which both he and they are involved.

The importance of what we term "communication" lies in the fact that it provides a form of behavior in which the organism or the individual may become an object to himself.

(George H. Mead, *Mind, Self & Society*, Eighth Impression, The University of Chicago Press, 1950, p. 138, ll. 22 - 36.)

②

Er spricht bekanntlich von Erkenntnissen a priori und a posteriori. Die letzten sollen Erfahrungserkenntnisse, die ersten von der Erfahrung unabhängig sein. Diese zerfallen aber dann wieder in zwei Klassen. In solche, die *Kant* als analytische und in solche, die er als synthetische bezeichnet. Die analytischen sind Sätze vom Charakter des Gesetzes des Widerspruchs. Sind sie affirmativ, so ist das Prädikat im Subjekt eingeschlossen. Sind sie negativ, so enthält es eine Bestimmung, die einem im Subjekt enthaltenen Merkmal kontradiktorisch entgegengesetzt ist. Die synthetischen sind alle jene, die diesen Charakter nicht haben. Sind sie affirmativ, so enthält das Prädikat eine Bestimmung, die in dem Subjekt fehlt. Sind sie negativ, so fehlt in dem Prädikat jede Bestimmung, die einer im Subjekt enthaltenen Bestimmung kontradiktorisch wäre. *Kant* hat die analytischen Erkenntnisse a priori für selbstverständlich wahr gehalten.

(Franz Brentano, *Versuch über die Erkenntnis*, Felix Meiner Verlag, 1970, S. 6, Z. 35 - S. 7, Z. 11.)

Ⅱ　以下の語句の中から、２項目を選択し、その番号を記した上で３行程度で解説しなさい。

1　トートロジー
2　可能態と現実態
3　生得観念
4　超人
5　固定指示子

Ⅲ　「悪」について論じなさい。

令和3（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験

問題

文化形態論専攻　現代思想文化学専門分野　筆記試験

［　問題用紙は２枚あります。］

（　１枚目／２枚中　）

注意　①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること

Ⅰ　下記の設問に答えなさい。

①　以下の英文全文を日本語に訳しなさい。

There are at all times two literatures which, although scarcely known to each other, progress side by side—the one real, the other merely apparent. The former grows into literature that *lasts*. Pursued by people who live *for* science or poetry, it goes its way earnestly and quietly, but extremely slowly; and it produces in Europe scarcely a dozen works in a century, which, however, are *permanent*. The other literature is pursued by people who live *on* science or poetry; it goes at a gallop amid a great noise and shouting of those taking part, and brings yearly many thousand works into the market. But after a few years one asks, Where are they? where is their fame, which was so great formerly? This class of literature may be distinguished as fleeting, the other as permanent. (Arthur Schopenhauer: On reading and books. The Project Gutenberg eBook of Essays of Schopenhauer, by Arthur Schopenhauer)

②　以下の英文を読んで、哲学と大学の関係性について英語で論じなさい。（10行程度）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下の通りです。

Ronald Barnett: *Being a University*, 2011, Routledge, p. 1, ll. 1-20

Ⅱ　以下の語句の中から、２項目を選択し、その番号を記した上で３行程度で解説しなさい。

1　トランス・サイエンス
2　クイア理論
3　百科全書
4　純粋持続
5　ノイラートの舟

Ⅲ　病気について哲学・思想の観点から論じなさい。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　臨床哲学専門分野　筆記試験

［問題用紙１枚、添付資料が４枚です］
（１枚目／５枚中）

問題１　あなたが臨床哲学において今後取り組む研究・活動について、これまでの研究との関係を明らかにしながら、目標・目的、方法、具体的計画を述べなさい。

問題２　添付資料は、『性風俗世界を生きる「おんなのこ」のエスノグラフィ』の「プロローグ」である。著者の熊田さんが、性風俗店で調査をはじめたきっかけや、調査をはじめるときのコンフリクトが描かれている。資料を読み、現場を調査するにあたって、そこで生きる人と向き合うということをあなたはどのように考えるか、自由に論じなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
熊田陽子『性風俗世界を生きる「おんなのこ」のエスノグラフィ：SM・関係性・「自己」がつむぐもの』（明石書店）2017 年、9 頁 1 行～15 頁末尾から 7 行

問題３　下の英文は、デトロイトにおける Ballroom culture について書かれた論文の一部である。資料を読み、内容を要約したうえで、その内容についてあなたの考えを述べなさい。“Ballroom culture”とは、LGBT であることを理由に地元や家族のもとにはいられなくなったアメリカ合衆国のアフリカ系・ラテン系のひとたちが、ニューヨークなどの都市部で最底辺の暮らしを送ることを余儀なくされながらも、ともに暮らしながら助けあい、夜に集ってじぶんの理想の姿になってパフォーマンスを競いあう文化行事を指す。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
Marlon M. Bailey, "Gender/Racial Realness: Theorizing the Gender System in Ballroom Culture" *Feminist Studies*; vol.37, no.2, (Summer 2011): p.369 l.4 - p.370 l.5.

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化形態論専攻　　インド学・仏教学専門分野　　筆記試験

[問題用紙は一枚です。]

語学辞書使用可

1　インド初期仏教研究に関して、現代の学界で何が主要課題であり、その解決方法についてどのように考えるか、できるだけ具体的に論ぜよ。

2　次の項目をできるだけ詳しく解説せよ。

1) Varuṇa

2) satya

3) tṛṣṇā

4) karman

3　次の文を正確に和訳せよ。

（出典：『ナラ王物語』）

yeṣām ahaṃ lokakṛtām īśvarāṇāṃ mahātmanām |

na pādarajasā tulyo manas te teṣu vartatām ||

vipriyaṃ hy ācaran martyo devānāṃ mṛtyum ṛcchati |

trāhi mām anavadyāṅgi varayasva surottamān ||

4　次の (a), (b) のどちらかを正確に和訳せよ。

(a)（出典：『カウシータキ・ウパニシャッド』）

sa hovāca ye vai ke cāsmāl lokāt prayanti candramasam eva te sarve gacchanti teṣāṃ prāṇaiḥ pūrvapakṣa āpyāyate tān aparapakṣeṇa prajanayaty etad vai svargasya lokasya dvāraṃ yac candramās taṃ yaḥ pratyāha tam atisṛjate 'tha ya enaṃ na pratyāha tam iha vṛṣṭir bhūtvā varṣati.

(b)（出典：『スッタ・ニパータ』）

isayo pubbakā āsuṃ saññatattā tapassino,

pañca kāmaguṇe hitvā attadattham acārisuṃ.

na pasū brāhmaṇān' āsuṃ, na hiraññaṃ na dhāniyaṃ,

sajjhāyadha adhaññāsuṃ, brahmaṃ nidhim apālayuṃ.

yaṃ tesaṃ pakataṃ āsi dvārabhattaṃ upaṭṭhitaṃ

saddhāpakatam esānaṃ dātave tad amaññisuṃ.

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　日本学専門分野　筆記試験

［問題用紙は２枚です。］
（1枚目／2枚中）

〔Ⅰ〕次の項目から、３項目を選んで説明しなさい。

(1) 寛政異学の禁　(2) 治安維持法　(3) 日本資本主義論争

(4) 戦陣訓　(5) 民衆史　(6) ロマンチック・ラブ・イデオロギー

(7) ニュータウン　(8) ウチナーグチ　(9) 荒木経惟

(10) 異装

〔Ⅱ〕次の５問のうちの１つを選んで答えなさい。

(1)「名前とアイデンティティ」をめぐって生じるさまざまな問題について、視点を設定して具体的に論じなさい。

(2) 近世日本の古学派の学者の著作を取り上げ、その意義について論じなさい。

(3) 日本における「戦争体験の継承」について、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

(4) 近代日本の「人口問題」について、時期区分をしながらできるだけ詳しく論じなさい。

(5)「国家の表象」に関する文化物、あるいは文化的事象について具体的な事例を挙げながら論じなさい。

〔Ⅲ〕次の文章は、Anne Allison, *Precarious Japan* (Duke University Press, 2013) の一節（22 頁 5 行目～36 行目）である。これを読んで、次の問いに日本語で答えなさい。

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。

2. 下線部②の“my-home-ism”について、本文の記述を踏まえて説明しなさい。

3. 戦後日本における大量消費社会の成立に伴ってどのような変化が起こったか、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

※問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は上記のとおりです。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　日本史学専門分野　筆記試験

［問題用紙は８枚です］（１枚目／８枚中）

【注意】設問（Ｉ）については、解答用紙は縦長に使い、横書きで解答して下さい。

（Ｉ）外国語問題

次の英文は、ラザフォード・オールコックの著作の一部である。この文章を日本語に訳しなさい。

［15 点］

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典：Sir Rutherford Alcock (1863) ; *The Capital of the Tycoon* : a narrative of a three years' residence in Japan vol.2 : Longman, Green, Longman, Roberts, & Green】

（問題文は次に続く）

【注意】設問（Ⅱ）～（Ⅴ）については、解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

（Ⅱ）次の問いに答えなさい。 ［25点］

古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における歴史書の内容やその編纂のあり方について、具体的に述べなさい。

（Ⅲ）次の歴史的名辞（1）～（4）のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえつつ説明しなさい。 ［15点］

（1）大仏造立　（2）試定衆　（3）田沼意次　（4）満州事変

（問題文は次に続く）

（Ⅳ）　次の設問（1）～（4）のうち、二つを選んで答えなさい。　［30点］

（1）　次の史料は、木本好信・中丸貴史・櫃口健太郎編『時範記逸文集成』（岩田書院、二〇一八年）からの引用である。本史料の承徳三年（一〇九九）二月十五日条を読んで、①～②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【木本好信・中丸貴史・櫃口健太郎編『時範記逸文集成』（岩田書院、二〇一八年）九七頁】

①校訂注を踏まえて、全文を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

②傍線ａの「束帯」、傍線ｂの「神宝」、傍線ｃの「惣社」（総社）、傍線ｄの「税所」、傍線ｅの「反閇」について、それぞれの意味を述べなさい。

（問題文は次に続く）

（2）　次の史料は、高橋秀樹著『日本史研究叢刊25　玉葉精読　元暦元年記』（和泉書院、二〇一三年）二〇三頁からの引用である。『玉葉』寿永三年（一一八四）三月一日条を読んで、㋑～㋓の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【高橋秀樹著『日本史研究叢刊25　玉葉精読　元暦元年記』（和泉書院、二〇一三年）二〇三頁】

㋑傍線ａを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

㋒傍線ｂの平重衡の使者は讃岐国屋島のある人物のもとに遣わされた。その人物とは誰か。

㋓傍線ｃを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

㋔傍線ｄを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

（３）　次の史料は、鹿児島県歴史資料センター黎明館編『鹿児島県史料　旧記雑録後編五』（鹿児島県、一九八五年）所収のものである。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。なお、「正成」は正しくは「正薩」であり、「薩摩中納言」とは島津家久のことである。また、出典における句読点などを一部変更したところがある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【鹿児島県歴史資料センター黎明館編『鹿児島県史料　旧記雑録後編五』（鹿児島県、一九八五年）六五一頁】

①この史料について、史料名を付しなさい。

②この史料のうち、「御札」から「謹言」までの文章について、漢字・平仮名交じりで読み下しなさい。

③この史料のうち、「御札」から「謹言」までの文章について、正確に現代語訳しなさい。

（問題文は次に続く）

（六枚目／八枚中）

（4）　次の史料は、『近衛篤麿日記』一八九八年六月二七日条の一節である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【近衛篤麿日記刊行会編『近衛篤麿日記』第二巻（鹿島研究所出版会、一九六八年）八九～九〇頁】

①傍線ａに関連して、この政党内閣が成立した経緯について知るところを述べなさい。
②傍線ｂに関連して、いわゆる「山県閥」について知るところを述べなさい。
③史料中の『　』で括った部分について、その内容を史料の記述に即して正確にまとめなさい。
④この史料から読み取れる当時の近衛篤麿の政党内閣に対する認識について述べなさい。

（問題文は次に続く）

（Ⅴ）　次の設問（１）～（２）のうち、１つを選んで答えなさい。　［15点］

（１）　次の古文書を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立歴史民俗博物館編『企画展示　中世の古文書』（国立歴史民俗博物館、二〇一三年）一三頁上段所収、建武二（一三三五）年二月一日「後醍醐天皇中宮（珣子内親王）令旨」】

（八枚目／八枚中）

（2）　次の古文書の見取書（くずし字をその当時現在の文字に置きかえて写すこと）を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【史籍研究会編『内閣文庫所蔵史籍叢刊　第九一巻　雑留（三）』（汲古書院、一九八八年）二五九頁下段】

令和３（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　東洋史学専門分野　　筆記試験

［問題用紙は２枚です。Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについて，それぞれ別の解答用紙を使用してください。］

Ⅰ　英語問題

次の文章を日本語に訳しなさい。なお，文中の注番号については無視すること。

（問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです）

【C. Benedict, *Golden-Silk Smoke*, Berkley and Los Angeles: University of California Press, 2011, p. 88, ll. 1-11】

Ⅱ　論述問題

次の２問から１問を選び，解答しなさい。

１．疫病と歴史のかかわりについて，特定の時期と地域を選び，「気候変動」「人の移動」「人口」「都市化」「近代国家」などの論点と組みあわせたうえで，論述しなさい。

２．トルコ系遊牧民がユーラシア世界史で果たした役割について，ユーラシア各地の言語や宗教との関係にも触れつつ，通時代的に論述しなさい。

Ⅲ　漢文問題

次の漢文は，清の顧炎武が著述した『日知録』巻 22・郡縣（部分）および秦始皇未滅二國です。これを読んで，下の問いに答えなさい。なお，一部の箇所では標点を省略しています。

秦始皇議封建，實無其本。假使用淳于越之言，而行封建，其所封者不過如①穰侯、徑陽、華陽、高陵君之屬而已，豈有建國長世之理。

秦始皇未滅②二國　古封建之國其未盡滅於秦始皇者，衛世家言，二世元年，廢衛君角爲庶人。是始皇時衛未嘗亡也。越世家言，越以此散，諸族子爭立，或爲王，或爲君，③濱於江南海上服朝於楚。秦始皇本紀言，二十五年，王翦遂定荆江南地，降越君。漢興，有東海王摇、閩越王無諸之屬，是越未嘗亡也。西南夷傳又言，秦滅諸侯，唯楚苗裔尚有滇王。④然則謂秦滅五等而立郡縣亦挙其大勢然耳。

【語註】

* 淳于越：秦代の儒者。封建の実施を主張し，焚書坑儒の契機となったことで有名。
* 無諸：騶無諸。越王の末裔とされる。
* 五等：周代の爵制。

問 1　傍線部①を日本語訳しなさい。
問 2　傍線部②の「二國」とはどことどこか，答えなさい。
問 3　傍線部③をすべてひらがなで書き下しなさい。
問 4　傍線部④を日本語訳しなさい。

Ⅳ　基礎事項問題

次の(a)～(e)の事項について知るところを，それぞれ 2 行程度で簡潔に述べなさい。

（a）改土歸流　　（b）両税法　　（c）『四庫全書』
（d）マニ教　　（e）フレグ（フラグ，Hulegü, 旭烈）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 西洋史学専門分野 筆記試験
[問題用紙は２枚です。]

注意　解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝問の記号や番号も記すこと。

設問１．①～②から１問を選択し、解答しなさい。

①人種や民族間の区別が、政治上の分断、あるいは、蔑視をもたらした事例をひとつとりあげ、そのような分断あるいは蔑視が、いかにして形成され、いかにして正当化されたのかについて述べなさい。

②気候変動は人類史にどのような影響を及ぼしてきたのか。具体例をあげて、その正負両面を論じなさい。

設問２．①～⑥の語句のなかから２つを選択し、説明しなさい。
① 解放奴隷
② ヴァイキング
③ 政治文化
④ フェルナン・ブローデル
⑤ 歴史人口学
⑥ モンロー主義

設問3．ドイツ語文献問題

以下は、元首政期ローマで整備された、アリメンタとよばれる基金の目的について論ずるGunnar Seelentag, 'Der Kaiser als Fürsorger: die italische Alimentarinstitution', *Historia: Zeitschrift für Alte Geschichte*, 2008, pp.208-241の第1章です。

（1）a,b を日本語に訳しなさい。

（2）著者は、アリメンタ制度について、先行研究を批判したうえで、どのような主張を展開しようとしているか。日本語で説明しなさい。

＊本文中にあるcura Italiaeとは、「イタリアへの配慮」を意味するラテン語です。

本文は、著作権の関係で省略

設問３．英語文献問題

以下は、Tim Whitmarsh, *Local Knowledge and Microidentities in the Imperial Greek World* (Cambridge, 2010), pp. 1-4 からの抜粋です。

（１）a〜cを日本語に訳しなさい。

（２）下線部Aについて、著者がパウサニアスは生きていると述べているのはなぜか、説明しなさい。

本文は、著作権の関係で省略

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　考古学 専門分野　筆記試験

［問題用紙は２枚です。］
（１枚目/２枚中）

問１　日本列島の原始古代土器研究のうち、製作、流通、使用のそれぞれの局面に焦点を当てた重要な研究を１つずつあげ、その内容を詳しく説明するとともに、あなた自身の論評を加えなさい。

問２　都市の成立に関して、その定義などに関する諸見解をふまえつつ、日本ならびに東洋・西洋にわたって論じなさい。

問３　次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。
（１）全体を日本語に訳しなさい。
（２）戦争という観点から、日本列島の縄文時代、弥生時代、古墳時代の歴史的特徴について、具体的な考古資料を示しながら論じなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
Gordon Childe,1941,War in Prehistoric Societies, *The Sociological Review*,Volume a33, Issue 3-4, Wiley-Blackwell, p.126, ll.1-16.

問４　次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

（１）全体を日本語に訳しなさい。

（２）下線部①の指し示す内容について、詳しく説明しなさい。

（３）下線部②の内容について、知るところを具体的に説明しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Sir Mortimer Wheeler, 1968, *The Indus Civilization* (Third Edition), Cambridge at the university press, p.25, ll.6-17.

問５　次の英文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Wendy Ashmore and Robert Sharer, 1988, *Discovering Our Past : A Brief Introduction to Archaeology*, Mayfield Publishing Company, p.95, l.38 - p.97, l.3.

問６　次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

（１）蔵勝土遺跡

（２）大成洞墳墓群

（３）御土居

（４）カムイ焼

（５）ミューオン透過法

令和三（二〇二一）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程）一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　日本文学専門分野　筆記試験

[問題用紙は四枚です。]

（一枚目／四枚中）

[一] 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

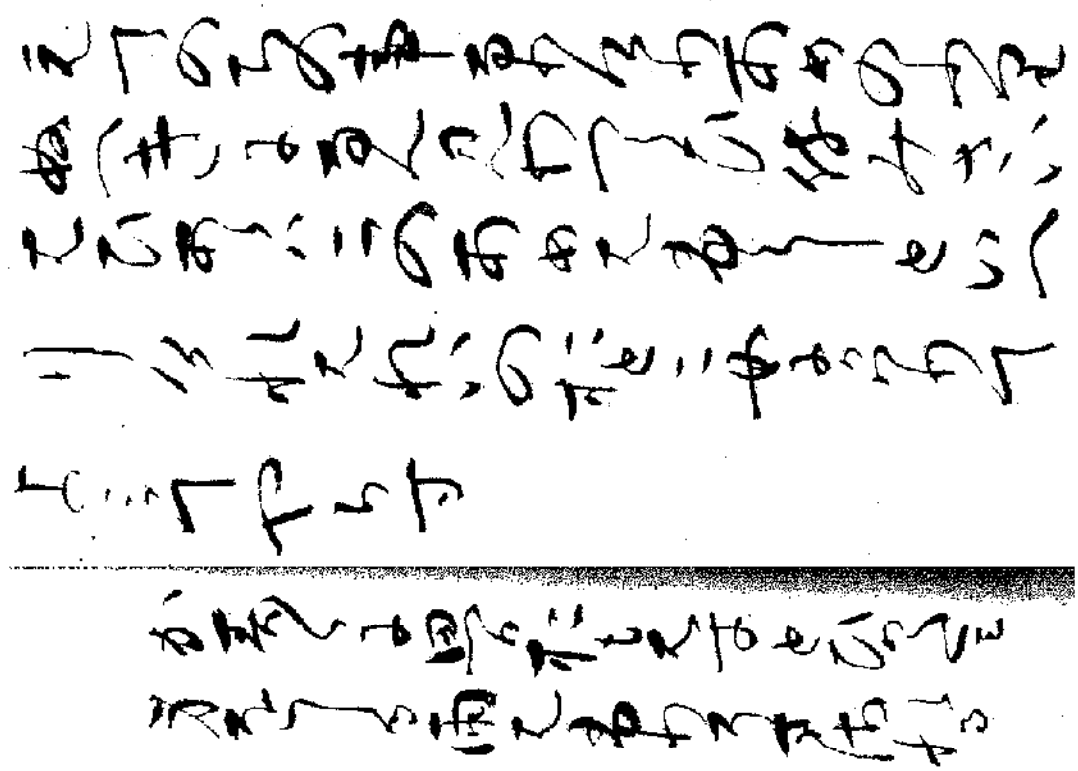
むかし、あてなることにありけり。そのことにのちたのりける人を、内記にありける藤原の敏行といふ人ぞありける。それと聞かれば、文をぞ、一しからず、二度ばかり知らず、いとかや聞ばとまでのかれば、かのあるじなる人、紙を書きて、かゝせてやりけり。めでまどひにけり。さて、をとこのよめる。

A つれづれのながめにまさる涙河袖のみひちてあふよしもなし

返し、例のをとこ、女にかはりて、

B あさみこそ袖はひつらめ涙河身さへ流ると聞かばたのまむ

といくりかれば、をとこいとよろこびたらめでて、今までありて、文箱に入れてありとなむいふなる。をとこ、文おこせたり。



（『伊勢物語』）

問一　傍線部を、主語を明らかにして現代語訳しなさい。

問二　Aの歌を現代語訳しなさい。

問三　Bの歌を現代語訳しなさい。その際、Aの歌の返歌であることを考慮し、Aの歌の内容を踏まえ、どのようにAの歌に答えたのかが分かるように補って訳すこと。なお、補った部分は（）で示すこと。

問四　画像になっている手行分を正確に翻刻しなさい。

（二枚目／四枚中）

[二] 次に載せるものは、江戸語・東京語を地方出身者が習い覚えることについて述べたものであるが、これらを読んで後の問いに答えなさい。（原文の表記を一部改めてある）

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

①京都の女中の詞を真似てしるし度いとなれども、江戸の乙女にはやすからず。また京大坂の娘御方には、その詞の似を損ないたるをよみづらくわらひ給はん。近来僕が綴りし人情本にて、当世の江戸詞を諸国の娘御達も大方はよみ覚えたまひし由なれば、拙なき筆に他国の方言をしるさず。

為永春水「処女七種」第四章（一八三六）

②元来此少女の語は田舎語が其性質です、然し東京を慕って居る心は其語をも慕ひます、ですから東京の人に対すると自然東京語で話そうとします。但しお米の心の中で東京語の雛形となるものは教師某の語です、其故此少女の語は田舎娘と自然に違って慕い寄るべくはありません、

嬢娘の原稿「野末の菊」（一八八九）

③「大石さんにお目に掛りたいのだが。」

田舎から出て来た就一は、小説で読み覚えた東京詞を使ふのである。一度不慣な外国語を使ふやうに、一語一語考へて見て口に出すのである。そして此返事の無難に出来たのが、心中で嬉しかった。

森鷗外「青年」巻（一九一〇）

④賊徒のあまり、その本州北端の一小都会に着いたとたんに少年の言葉つきまで一変してしまってゐたほどでした。かれは少年雑誌で習ひ覚えてあった東京弁を使ひました。

太宰治「津軽」序編（一九四四）

問一　右のうち③は東京が舞台であるが、江戸・東京ではない場所でも江戸語・東京語が使われるようになったのにはどのような経緯があったのか、知るところを述べなさい。

問二　小説等の創作物に使われる言語と共通語・標準語の関係について、歴史的経緯を中心に知るところを述べなさい。

問三　日本語の共通語・標準語の成立の過程について、右の資料にも適宜言及しながら、知るところを述べなさい。

三　次の文章は島崎藤村の小説『朝飯』（『緑葉集』〈春陽堂、一九〇七〉所収）の全文です。

これを読んで後の問いに答えなさい。

《引用は『藤村全集　第二巻』（筑摩書房、一九六六）三六九～三七三頁》

（三枚目／四枚中）

復た五月が来た。測候所の技手なぞして居るのは誰しも同じ思ひであらうが、然に自分はこの五月を嫌くなかたく思ふ。其日々々の勤務――氣壓を調べるとか、風力を計るとか、雲形を觀察するとか、または東京の氣象臺へ送て、報告を作るとか、そんな仕事に追はれて、忘れ勝ちに月日を送るといふ樣な場面でも、あの時期が遂情をそゝるやうに時出する頃になると、妙に寂しい思想を起す。あゝ、嫌だ――斯う五月は自分に厭くのである。

いろ〳〵なことを憶出するのはこの月だ。

ある日のことであつた。丁度自分の休暇に當つたので、事務の引繼を當番の同僚に慣むつもりで、書いて置いた氣壓の表を念の爲に讀んで見た。天氣、晴。氣溫、上昇。雲形、層、層積、雲層、雲積。よし。それで自分は小高い山の上にある長野の測候所を出た。雪光寺から七八町、例の借屋へ歸つて見ると、初夏の光は柿の若葉を通して、北向の縁側を明るく照らして居た。向ふの質屋の壁は白く日をうけた。庭の内も今は青木の盛な時で、柱に寄つて眺めると、新綠の香に醉されるやうな心地がする。樂しい空氣に滲される林檎の可憐らしい花、その周圍を飛ぶ蜜蜂の樂しい羽音、すべて、見るもの聞くものは回想のなかだちであつたのである。其時自分は眼を細くして淡度となく若葉の息を嗅いで、寂しいとも心細いとも名のつけやうのない――まる病人のやうに弱い氣分になつた。半生の間の歎しいや哀しいが胸の中に浮んで來た。あの長い漂泊の苦痛を考へると、よく自分のやうなものが斯うして今日まで生きながらへて來たと思はれる位。破滅――といふより外に自分の生涯を驚くる言葉は見當らない。それがこの山の上の淋く濕ひ沼いて、半離れた測候所の技手をして、雲の形を眺め暮す身になろうなどゝは、實に自分ながら思ひもよらない變遷なのである。

斯う思ひ耽つて居ると、誰か表の方で呼ぶやうな聲がする。何の氣なしに自分は出て見た。

旅窶れのした書生體の男が自分の前に立つた。片隅へ身を寄せて、上り框のところへ手をつき乍ら、何か低い聲で物を言出した時は、自分は直にその男の用事を看て取つた。聞いて見ると、越後の方から出て來たもので、部にある親戚をたよりに尋ねて行くといふ。はるゝ〳〵の遠路、こゝまでは辿り着いたが、途中で煩つた爲に限りある路銀を費ひ盡して了つた。道は遠し、懷中には一文も無し、足は斯の通り疲れて歩行る自由には出來かねる。情があらば助力して呉れ。頼む。斯う眞實を顔にあらはして懇願するのであつた。

『實は――まだ朝飯も食べませんやうな次第で。』

とその男は附加して言つた。

この『朝飯を食べません』が自分の心を動かした。顔をあげて拜むやうな目付をしたその男の容樣は、と見ると、體格の割に頭の大な、下顎の圓く長い、何となく人の好さそうな人物。日に燒けて、茶色になつて、汗すこし流れた其痩せ〳〵敷い額の上には、たしかに落魄といふ烙印が押してあつた。悲しい追憶の情は、其時、自分の胸を突いて湧き上つて來た。自分も矢張その男と同じやうに、饑と寒とで困くたことを思出した。用向もなく彷徨ひ歩いたことを思出した。恥を忘れて人の家の門に立つた時は、思はず涙が頬をつたつて流れたことを思出した。

『まあ君、そこへ腰掛けたまへ。』

と自分は親切な調子で言つた。男は自分の思惑を怪るがして、妙な顔して、たゞもう俯然と黙く乍ら立つて居る。

『何しろ其は御困りでせう。』と自分は言葉をつゞけた。『僕の家では、君、斯ういふ規則にして居る。何かしら爲て來ない人には、決して物を上げないといふことにして居る。だつて君、左樣ぢやないか。僕だつて働かずには生きて居られないぢやないか。その汗を流して手に入れたものを、たゞで他に上げるといふことは出來ない。貰ふ方の人から言つても、たゞ物を貰ふといふ法はなからう。』

（四枚目〜四枚中）

斯う言ひ乍ら、自分は十錢銀貨一つ取出して、それを男の前に置いて、

『僕の家ばかりぢゃない、何處の家へ行つても左樣だらうと思ふんだ。たゞ呉れると言はれて、快く出すものは無い。是から君が實家迄帰る行かうといふのに、そんな方法で道が出來るものか。だからさ、それを僕が君に忠告してやる。何か賣て、勞働して、それから頼むといふ樣を起したらば來何かね。』

『はい。』と男は額に手を宛てた。

『新たなことを言つたら、妙な人だと君は思ふかも知れないが――』と自分は學生生活をしたらしい男の手を握めて、『僕も君等の時代には、隨分困つたことがある――そりやあもう、辛い目に出遭つたことがある。丁度君が今日の境遇を僕も通り過して來たのさ。さもなければ、君、誰が斯んな忠告などをするものか。體驗者の苦しい有樣を見ると、僕は大に同情を苦やる。ああ僕は呉さたらやうな氣が起る。實に苦しんで見たものでなければ、苦しんで居る人の心地は解らないからね。そこだ。もし君が僕の言ふことを聞く樣があるなら、一つ勞働して通る事見になりたまへ。何か事は出來ることがあるだらう――まあ、歌を唄ふとか、傳經を唱げるとか、または尺八を吹くとかさ。』

『どうも是といふ藝は覚ません、尺八なら少許ひねつたことを――』と男は恥しさうに笑ひ乍ら答へた。

『むゝ、尺八が吹けるね。それ見給へ、さういふ藝があるなら慶さが可いぢゃないか。賣るべし。賣るべし。無くてさへ賣らうといふ今の世の中に、有つても隠して持つてゐたんで、そんな事のやうな人があるものか。では、斯うするさ――僕が今、君に尺八を買ふだけの金を上げるから、組來な竹でも何でもいゝ一本手に入れて、それを吹いて、それから旅をする、といふことにしたまへ――思に角これだけあつたら譯つて呉れるだらう――それ十錢上げる。』

斯う言つて、そこに出した銀貨を男の手に握らせた。

『人の一生といふものは、君、どうなるか解らない。』と自分は男の顔を熟視め乍ら言つた。『これから將來、君がどんな出世をするかも知れない。僕がまた今日の事のやうに困らないとも限らない。まあ、君、左樣ぢゃないか。もし君が壯大な邸宅で暮らすといふ時代に、僕が國へ行くやうなことがあつたら、其時は君、宜敷く頼みますぜ。』

『くゝゝゝ。』②男は苦笑ひをした。

『いゝかね。僕の言つたことを君は守らんければ不可よ。尺八を買はないうちに食つて了つては不可よ。』

『はい食べません、食べません――決して、食べません。』

と男は、言葉に力を入れて、堅く〳〵誓ふやうに答へた。

やがて男は元氣づいて出て行つた。施與といふことは妙なもので、施された人も幸福ではあらうが、施した當人の方は尚更心寂しい。自分は嚴さた人を捉へて、說法を聞かせたとも氣付かなかつた。十錢呉れてやつた上に、助言もしてやつた。まあ、一つ惡んでやつた。と考へて、自分のしたことを一笑にして事んだ。五月――淫雨の五月――寂しい旅情は僅かに斯ういふことで慰められたのである。

しばらくして、水汲みから帰つて來た下女に聞くと、その男は自分の家を出る、直に一ぜんめしの看板をかけた飲食店へ入つたといふ。其時自分は男の言葉を思出して、『まだ朝飯も食べません』を繰返して笑つた。定めし男の方でも自分の言葉を思出して、『電燈は嫌有いが、朝飯の方が尚嫌有い』とかなんとか獨語を言ひ乍ら、其日の食糧にありついたことであらう。

問一　傍線部①「馴々敷い調子で言つた」のはなぜですか。「自分」の気持ちを説明しなさい。

問二　傍線部②「男は苦笑ひをした」のはなぜですか。「男」の気持ちを説明しなさい。

問三　島崎藤村について知っていることを述べなさい。

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　比較文学専門分野　筆記試験

［問題用紙は３枚です。］
（１枚目／３枚中）

1　以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

出典は Patsy Stoneman, *Brontë Transformations: the Cultural Dissemination of Jane Eyre and Wuthering Heights* (London: Prentice Hall/Harvester Wheatsheaf, 1996), p.4, l.9-l.34 です。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

'Roland Barthes'の引用の後、'Julia Kristeva'から'popular romance'までの段落を日本語に訳しなさい。Kristeva などの固有名詞は、英語表記のままで問題ありません。

2　下の文章を読んで、翻訳された詩の工夫や特徴について、原文の英語と比較しながら分析して論じなさい。出典は、西村真次『西詩の薫－英詩評釈』（参文舎, 1906）, pp.251-255 です。

TO THE EVENING STAR.

Thomas Campbell.

Star that bringest home the bee,
And sett'st the weary labourer free!

If any star shed peace, 'tis thou,
　That send'st it from above,
Appearing when Heaven's breath and brow,
　Are sweet as her's we love.

Come to the luxuriant skies,
Whilst the landscape's odours rise,
Whilst far-off lowing herds are heard,
　And songs, when toil is done,
From cottages whose smoke unstirred
　Curls yellow in the sun.

Star of love's soft interviews,
Parted lovers on the muse:
Their remembrancer in Heaven
　Of thrilling vows thou art,

Too delicious to be riven
　By absence from the heart.

夕の星に寄する歌

トマス、カメル

星こそ蜂をその巣にかへし、
疲れたる人を休ましむれ。
星影もし平和の色を洩らさば、
そは天より汝に送りしなり。
星ひらめくや天の呼吸は、
われ等の戀人のに似て甘し。
星のゆたけき空に照るや、
地上の香かんばしくゆらぎ、
はるかなる獣の鳴聲きこゆ。
仕事終れる時歌聲小屋より聞ゆ、
その小屋の煙は動きもやらで、
日に映えて黄輪を捲く。
戀の星はうつゝの中に、
別れし戀人を逢はさしむ。
戀人のわなゝくらん誓約の、
紀念はみ空の上に在り。
そはいと雅びてあれば、胸より心の
抜出でたりとて裂かれはせじ。

3　次の文章は、村野四郎の詩集『体操詩集』（アオイ書房、一九三九年一二月刊行）に収録された詩「体操」です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（引用は、『名著復刻詩歌文学館　村野四郎『体操詩集』アオイ書房版』日本近代文学館、一九八〇年、六頁―七頁）

(1)　この詩集は詩に写真が並置されるというレイアウトを採用している。この詩における写真の効果について論じなさい。

(2)　この詩の表現上の特徴を、モダニズムとの関係に言及しながら具体的に論じなさい。

(3)　この詩集が一九三九年に刊行されたことにはどのような意味があると考えられるか、自分の考えを述べなさい。

(4)　文学・芸術作品におけるスポーツに関する表現とその問題点について、具体的な作品名を挙げながら論じなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜
試験問題
文化表現論専攻　中国文学専門分野　筆記試験

［問題用紙は２枚］

Ⅰ　次に挙げるのは孟郊の「寄張籍」詩である。このとき、孟郊は洛陽にて鄭餘慶の幕僚をつとめていた。また、張籍は長安にて太常寺太祝の任にあったが、眼疾を患っていた。これを読んで後の問いに答えよ。解答にはすべて日本語を用いること。

(a)未見天子面，不如雙盲人。賈生對文帝，終日猶悲辛。(b)夫子亦如盲，所以空泣麟。有時獨齋心，髣髴夢稱臣。夢中稱臣言，覺後真埃塵。(c)東京有眼富，不如西京無眼貧。西京無眼猶有耳，隔牆時聞天子車轔轔。轔轔車聲輾冰玉，南郊壇上禮百神。(d)西明寺後窮瞎張太祝，縱爾有眼誰爾珍。天子咫尺不得見，不如閉眼且養真。

問１　下線部(a)をわかりやすく日本語訳せよ。
問２　下線部(b)は孔子の故事を踏まえている。その故事はどのようなものか、またそれを踏まえて下線部(b)はどのようなことを言うのか、わかりやすく説明せよ。
問３　下線部(c)をわかりやすく日本語訳せよ。
問４　下線部(d)をわかりやすく日本語訳せよ。
問５　本詩は全体としてどのようなことを言うのか、またそこには作者孟郊のどのような人物像がうかがえるか、わかりやすく説明せよ。

Ⅱ　次に挙げる「梅花引」を読んで後の問いに答えよ。解答にはすべて日本語を用いること。

城下路淒風露今人犁田古人墓岸頭沙帶蒹葭漫漫昔時流水今人家

黄埃赤日長安道倦客無漿馬無草開函關閉函關千古如何不見一人

閒

注：雙調五十七字，前段七句三仄韻、三平韻，後段六句兩仄韻、兩平韻、一疊韻。

問１　「梅花引」の押韻について、韻字をすべて挙げながらわかりやすく説明せよ。

問２　「梅花引」の全文を日本語訳せよ。

問３　「梅花引」が属する文学ジャンルの特質およびその演変について、知るところを述べよ。

Ⅲ　次に挙げるのは、「六一詞」に関する章培恒・駱玉明『中国文学史』の一節である。ここにあらわれた章・駱両氏の文学観・人間観について、考えるところを自由に述べよ。解答には日本語を用いること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

章培恒・駱玉明『中国文学史』，復旦大学出版社，1996 年，頁 189。

令和３（2021）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　ドイツ文学専門分野　筆記試験

［問題用紙は外国語を含め、３枚あります。］

（１枚目／３枚中）

問題１　以下の全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

［出典 Etienne François und Hagen Schulze (Hgg.), *Deutsche Erinnerungsorte*, München 2005, S.7, Z.3-9.］

問題２　以下の全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

［出典 Northrop Frye, *The Secular Scripture*, Cambridge, Massachusetts and London 1982, p.60, l.17-23.］

問題３　以下の全文を日本語に訳しなさい。

次の文章は、オーストリアの作家シュテファン・ツヴァイク（1881-1942）が第一次世界大戦のさなかに中立国スイスへ逃れ、そこで体験したことを語ったものである。これを読んで、設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[出典 Stefan Zweig, *Die Welt von Gestern. Erinnerungen eines Europäers.* Frankfurt a. M. 1995, S.311, Z.10. – S.312, Z.2.なお出題に際して、本文を一部改変している。]

設問１　下線部(a)および下線部(b)を日本語に訳しなさい。

設問２　ここでツヴァイクが語っている内容に関連して知るところを述べなさい。

問題４　以下のテーマからひとつを選び、ドイツ語で自由に論じなさい（２００語程度）。

1)　Treibhauseffekt　　2)　Tourismus　　3)　Isolation

問題５　ドイツ文学史・文化史にかかわる以下の事項から３つを選び、具体的な著作や著作者を例示しながら、日本語で説明しなさい（それぞれ２５０字程度）。

1) Reformation　2)Kindsmörderin　3) Bildungsroman

4) Kunstmärchen　5) Bilingualismus　6) Wilhelm Tell

7) literarischer Salon　8) Twitteratur　9) Gastarbeiterproblem

10) Nürnberg

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　日本語学専門分野　筆記試験

［１］次の文章を読んで，後の問いに日本語で答えなさい。

問題文は，著者の著作権等に配慮し，省略します。なお，出典は次のとおりです。

Sapir, E. (1921) *Language: An introduction to the study of speech.* San Diego: Harcourt Brace & Company. pp.3-4

問１　下線部（A）を日本語に訳しなさい。

問２　下線部（B）とはどのようなことか，本文に即して説明しなさい。

問３　下線部（C）について，日本語を例にして自由に論じなさい。

［２］次の１０項目のなかから５項目を選んで，各項目５から１０行程度で，説明しなさい。

（１）計量語彙論

（２）専門語

（３）活用の観点に基づく動詞分類

（４）膠着語

（５）ウ音便

（６）類別語彙

（７）ことばのバリエーション

（８）接触場面

（９）伝達能力

（10）Goffman のフレーム

［３］あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを５つ挙げ，それぞれについて，各項目５から１０行程度で，説明しなさい。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　英語学専門分野　筆記試験

[問題用紙は２枚です。]
（１枚目／２枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I.
次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典：Laurence Horn (1984) 'Toward a new taxonomy for pragmatic inference: Q-based and R-based implicature.' In *Meaning, Form, and Use in Context: Linguistic Applications.* Deborah Schiffrin (ed.) Georgetown University Press, Washington, D.C. p.11, l. 6-l. 22（一部省略）]

II. 次のドイツ語またはフランス語の文章を日本語に訳しなさい（「筆記試験において選択する外国語」１つを選んで回答すること）。

(ドイツ語)

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典：Jürgen Trabant, Was ist Sprache? München 2008, S.18, Z.3-7.（一部変更）]

(フランス語)

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典：Edgar Morin, avec la collaboration de Sabah Abouessalam, *Changeons de voie. Les leçons du coronavirus*, Paris, Denoël, 2020, p. 25, l. 2-10.]

III. 次の項目の中から5つ選び、簡潔に日本語で説明しなさい。

(a) Argument structure
(b) Scope
(c) Negative evidence
(d) Epenthesis
(e) Complex NP
(f) Polarity sensitive items
(g) Scalar implicatures
(h) C-command
(i) Extension vs. intension
(j) Gradable vs. non-gradable adjectives

IV. 次の和文を英語に訳しなさい。

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典:小林亜希子・吉田智行(2018) 『破格の構造』東京:朝倉書店, 1頁 8行～13行および2頁 12行～14行(一部省略)]

V. 大学院入学後の研究計画について、英語で説明しなさい。字数制限はありません。

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美学・文芸学専門分野（美学受験分野）筆記試験

「問題用紙は２枚です。」

（１枚目/２枚中）

以下すべての問いに日本語で答えなさい。

問１　以下の用語のうち３つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

（配点 21 点）

１）　日常美学　　２）　五時代説話　　３）　リュート

４）　シェイクスピア　　５）　白描画　　６）　イーゼンハイム祭壇画

問２　哲学の一分野としての美学は「美」以外にも様々な問題について論じてきました。そこで、美学が論じてきた「美」以外の問題をひとつ取り上げて、何が問題となってきたのかについて解説しなさい。解答にあたっては、自分の研究にかかわりの深い美学の問題を取り上げて、取り上げた問題をどう論じていきたいかについて、最後に言及しなさい。解答の文章の長さは問いません。

（配点 40 点）

問３　別紙の文章は、Yuriko Saito, *Everyday Aesthetics* (Oxford University Press, 2010), 206-211. の文章の一部を抜き出したものです。この文章から読みとられる著者の考えを解説したうえで、具体例を出しながら、あなたの考えを述べなさい。解答の文章の長さは問いません。

（配点 39 点）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美学・文芸学　専門分野（文芸学 受験分野）筆記試験

〔問題用紙は３枚です。〕

問１　以下の用語のうち３つを選び、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。［配点 21 点］

１）日常美学　　２）五時代説話

３）リュート　　４）シェイクスピア

５）白描画　　６）イーゼンハイム祭壇画

問２　別紙１で示した英文は、Carol J. Adams, *The Sexual Politics of Meat - 25th Anniversary Edition: A Feminist-Vegetarian Critical Theory*, Bloomsbury Academic, 2015 (Kindle 版) の CHAPTER 6 : FRANKENSTEIN'S VEGETARIAN MONSTER からの一節である（p. 100, l. 47-62 – p. 101, l. 1-25）である。この英文を日本語に訳しなさい。〔配点 39 点〕

問３　別紙２で示した文章は、ウォルター・J・オング（著）、桜井直文・林正寛・糟谷啓介（訳）『声の文化と文字の文化』藤原書店、1991 年からの一節である（p. 284, l. 2- p. 286, l. 3）。この別紙２の文章と適宜関連させて、あなたが研究対象としている文学作品や文化について、その研究をどのように進めていくべきかについて 400 字程度で具体的に論じなさい。〔配点 40 点〕

（引用文は著作権に配慮して省略します。）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　音楽学・演劇学専門分野　（演劇学受験分野）　筆記試験

［問題用紙は２枚です。］
（１枚目／２枚中）

※解答はすべて日本語で記述すること。ただし固有名詞は原語でも構わない。

問１　次の項目のうち３つを選び、それぞれにつき 100 字程度で説明しなさい。

１）日常美学　　２）五時代説話　　３）リュート
４）シェイクスピア　　５）白描画　　６）イーゼンハイム祭壇画

問２　次の３つの項目全てについて、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。

１）夢幻能　　２）竹本義太夫　　３）アングラ演劇

問３　問題用紙２枚目の英文は、 Stefan Hulfeld, "Modernist theatre," David Wiles and Christine Dymkowski (eds.), *The Cambridge Companion to Theatre History*, Cambridge, 2013, p.24,l.28-p.25,l.22 です。この文章を読んで以下の設問に答えなさい。

設問１）この文章の中で、Adolphe Appia の試みようとしたことはどのようなことだと説明されていますか。この文章に即して答えなさい。

設問２）この文章の中で、いわゆる演出家の職能については、どのようなものだと説明されていますか。この文章に即して答えなさい。

設問３）この文章の中で、引用箇所（A）の全文を日本語に訳しなさい。

設問４）またこの引用箇所（A）のような考え方はその後の演劇史の中でどのような展開を見せていくのか、説明しなさい。

問４　日本の戦後演劇の傾向の一つについて、次の語をすべて使って説明しなさい。
久保栄、千田是也、劇団民藝、モスクワ芸術座、ベルトルト・ブレヒト

問５　演劇における批評の意義について、あなたの考えを日本語で述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Stefan Hulfeld, "Modernist theatre," David Wiles and Christine Dymkowski (eds.), *The Cambridge Companion to Theatre History*, Cambridge, 2013, p.24,l.28-p.25,l.22

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春期試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美術史学専門分野（日本・東洋美術史受験分野）筆記試験

［問題用紙は別紙を含め４枚あります。］

問１　以下の項目のうち 3 つを選び、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。［配点 21 点］

1）日常美学
2）五時代説話
3）リュート
4）シェイクスピア
5）白描画
6）イーゼンハイム祭壇画

問２　別紙 1 は、永観堂禅林寺蔵「融通念仏縁起絵」第三段詞書です。傍注の漢字を含め、全文を翻刻しなさい。［配点 15 点］

問３　別紙 2 の問題に答えなさい。［配点 20 点］

問４　別紙 3 は狩野秀頼筆「観楓図屏風」（16 世紀後半　紙本着色　六曲一隻　150.3×364.3cm　東京国立博物館蔵）です。構図や表現の特色を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの絵の魅力について述べなさい。［配点 44 点］

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

別紙2

問題　次の文は林羅山著『本朝神社考』（一六四五年刊）巻五（『続日本古典全集』現代思潮社、一九八〇年）より「大荒明神（おおさけのみょうじん）」の全文です。これについて後の設問に答えなさい。

文は著作権等に配慮し、掲載を省略します。
抜粋箇所は右記『続日本古典全集』四〇六～四〇八頁です。

設問一　波線①「時大和～如玉」を書き下し文にしなさい。

設問二　全文の内容を現代語訳しなさい。

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／一般選抜・春季試験）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美術史学専門分野　（西洋美術史受験分野）　筆記試験

[問題用紙は１枚です。]

（１枚目/1 枚中）

問１　以下の語句から３つを選び、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。(配点 21 点)

1) 日常美学　2) 五時代説話　3) リュート

4) シェイクスピア　5) 白描画　6) イーゼンハイム祭壇画

問 2 以下の 10 項目について簡潔に説明しなさい。(配点 40 点)

1) ランブール兄弟　2) Gerda Taro　3) ロマネスク建築　4) Frans Hals

5) Antonio Canova　6) Théodore Géricault　7) ゼウクシス　8) camera obscura

9) Harald Szeemann　10) Francisco de Zurbarán

問 2　下記の英語を日本語に訳しなさい。(配点 39 点)　(著作権に配慮して引用文は省略します)

(出典 Ch.Rosen & Henri Zerner, *Romanticism and Realism*, London 1984, p.51)